

しばらくして むらびとたちが
おでらに やつてきました



「住職さん たぬき みはりまへんでしたか
わるだぬき おいかけて きたんやけど
みうしのうてしもて」

「そろあ きのごん」



たぬきは すばしっこいさかい
いちど みうしのうたら
もう みつからんやろ
きようは あきらめとき
それに わるだぬきいうても
いきものには ちがいない
あんまり むちゃしなや」

「かないまへんなあ
つかまえて たぬきじるにしょ
おもてたん おみとおしや
ほな あきらめて かえりまうさあ」

